

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第191号	氏名	石川 彩
学位審査委員	主査 小林 信之 副査 松山 俊文 副査 芳本 忠		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>学位論文題名 「抗菌性低分子化合物 furanocoumarins のハマボウフウ培養組織における生合成に関する研究」</p> <p>1. 研究目的の評価 本研究は抗菌性低分子化合物 furanocoumarins のセリ科植物 <i>Glehnia littoralis</i>(ハマボウフウ)培養組織での効率的な生産の可能性を検討した furanocoumarins 生合成機構に関する研究であり、研究目的として妥当である。</p> <p>2. 研究手法に関する評価 ハマボウフウのカルス培養、器官培養を用い、様々な外来添加物による furanocoumarins 生合成への影響を検討しており、その解析は各種酵素の遺伝子レベルでの解析、蛋白質レベルでの解析にまで至っており、研究手法も妥当である。</p> <p>3. 解析・考察の評価 本研究の結果、ハマボウフウ培養組織から種々の刺激に応じて furanocoumarins が培地に回収できることがあきらかとなり、バイオリアクターによる大量生産への応用の可能性が示された。これらの結果に至る研究結果と考察は高く評価できる。</p> <p>以上のように、本論文は furanocoumarins の植物組織培養からの生合成の実用化に向けての貢献するところ大であり、審査委員全員一致で博士(薬学)の学位に値するものと判断した。</p>			